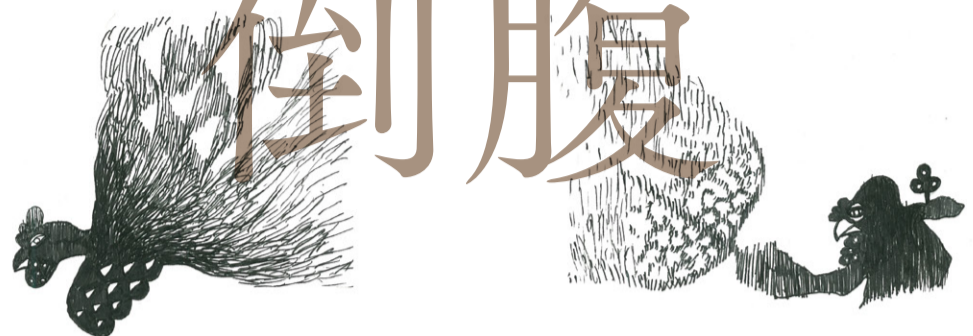


# 絶倒腹



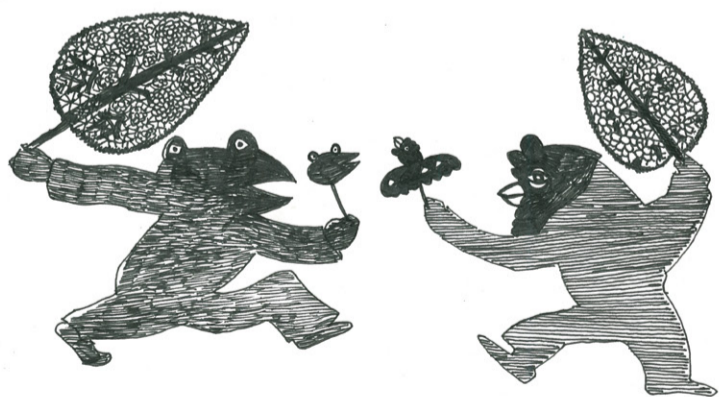
# だじやれ音楽祭

みなさん、こんにちは。作曲家の野村誠です。5年間の沈黙の後、ついに開催します。「千住だじやれ音楽祭 第2回定期演奏会」でございます。5年ぶり2度目です。なんだか、甲子園の出場校みたい。5年ぶりって、オリンピックよりも長いじゃない、どこが「定期演奏会」？というツツ「ミが聞こえて参りますが、大変、お待たせいたしました。満を持して、ついに開催であります。

いろいろな見所があります。第1回で好評の「だじやれは言いません」を、5年ぶりに再演いたします。まちなかで「だじやれを言ってください」と質問された方々の言葉を収めた映像と、仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター（\*1）の神谷未穂さんの華麗なるヴァイオリンの超絶技巧が共演します。必見/必聴です。



三味線もあります。「邦楽落語」などにも意欲的に取り組む地歌筆曲家の竹澤悦子さんが、溝入敬三作詞・作曲の三味線オペラ「猫に小判」を演奏していただきます。これは、我が「だじやれ音楽祭」と無関係につくられた曲なのですが、だじやれ満載の傑作で、音楽的にも、非常に高度な技法を凝らした名作なのです。



## 第2回定期演奏会

## 「かげきな影絵オペラ」

第1回定期演奏会で「まちまちマーチ 待ちくたびれて」を作曲してくださった梅津和時さんにも、再登場していただきます。ジャズという枠にとどまらない自由で力強い演奏。絶妙なユーモアと美しい音色。梅津さんのサクソ、クラリネットが、千住に響きます。梅津さんと鮮度の高い「だじやれ音楽」を、アドリブ交えてお届けします。



## をペラッとご紹介



テノール歌手の中原雅彦さんには、この5年間に生まれた数多の「だじやれソング」を、歌っていただきます。子供たちと冗談言いがつづいた「レモンのいれもん、そんなバナナ、ゴリラはこりこりらー」なんて歌も、中原さんの美声で歌われると、イタリアオペラを聴いているかのような錯覚に陥るのであります。ブラボー！

だじやれ音楽の国際化にも取り組む中、インドネシアやタイでは、影絵とも出合いました（\*2）。ガムラン奏者であり、第27回五島記念文化賞美術新人賞を受賞した注目の影絵アーティスト川村巨平斎さんの登場です。川村さんは、バリ島での1年間の研鑽を経て、帰国されたばかり。さらなる飛躍をうけた川村さんと、だじやれ音楽が、かげきにオペラします。



平成30年2月4日(日) 14:00開演 \*詳細は7面へ

### プログラム

- 第1部 ゲストによる小品集  
ヴァイオリンと映像のための「だじやれは言いません」  
「猫に小判」ほか
- 第2部 「かげきな影絵オペラ」  
構成：野村 誠/影絵：川村巨平斎
- 第3部 大編成の大合奏！  
「でしてしてし」

こうした多彩なゲストを迎え撃つのが、市民グループ「だじやれ音楽研究会」です。会社員、学生、自営業、音楽家、だじやれ活用協会会員などが集い、ゆるゆると音楽やだじやれを楽しんで参りました。私は、この楽団は、世界に誇れる柔軟性の高いバンドだと思っております。「こんなに大人が楽しそうにしているのを見たことがないの」と形容されたこともあり、ますます、イキイキと、奇想天外な表現の数々がめぐるめくことでしょう。

野村が、こうした参加型の音楽プロジェクトをやり始めた頃に作曲した「でしてしてし」も上演します。水戸市の双葉台中学校の吹奏楽部とロックバンドと路上バンドと2台ピアノが共演した野村のデビュー作とも言っべき作品で、日本で演奏されるのは23年ぶり。演奏自体は、オランダで演奏されて以来なので、15年ぶりです。

見所は、いっぱいあります。次回は5年後かもしれない「第2回定期演奏会」。ぜひ、ぜひ、ぜひとも、お越しくださいませ。

## 千住だじやれ音楽祭ディレクター 野村誠



イラスト：小日山拓也

\*1 オペラ「だじやれ」の第1回ヴァイオリンの首席奏者。  
\*2 野村誠がだじやれ音楽研究会のメンバーで、2011年末にタイ、2016年末はインドネシアに遠征した。助成・国際交流基金。





MAP



- A 野村誠 千住だじゃれ音楽祭 東京藝術大学 千住キャンパス
- B 千住・緑レジデンス 仲町の家
- C アサダワタル 千住タウンレーベル 仲町の家ほか
- D 地域連携プログラム 安養院

【お問い合わせ】「アートアクセスあだち 音まち千住の緑」事務局  
 WEB <http://aaa-senju.com/contact>  
 電話 03-6806-1740 (13:00-18:00、火曜・水曜除く)  
 メール [info@aaa-senju.com](mailto:info@aaa-senju.com)

\*「info@aaa-senju.com」からのメールを受信できるように設定してください。  
 \*個人情報厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

本誌をご覧になってのご意見・ご感想などをぜひお聞かせください。  
 素敵なだじゃれもお待ちしております。

「(千住に遊ぶ、6つの週末)」

～年明けからイベント目白押し!～

月	火	水	木	金	土	日
						21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	2/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

冬の  
プログラム  
一覧

アサダワタル 千住タウンレーベル  
音盤千住 レコ発企画「聴きめぐり千住！」

「仲町の家」でLPレコードを受け取ったら、地図をもとにまちにでかけよう。  
 音源制作したタウンレコーダーが、レコードプレイヤーとともにあなたを待っています。

日時 平成30年1月21日(日) 11:30-18:30  
 料金 無料【事前申込優先】  
 会場 千住地域各所/受付・音盤貸出: 仲町の家(東京都足立区千住仲町29-1)

イラスト: 宮田篤

千住・緑レジデンス  
表現(Hyogen)「茶 MUSICA」

日時 1月28日(日)、2月10日(土)、11日(日・祝)、17日(土)  
 開場 10:00-17:00 \*下記時間以外は入場無料、出入り自由  
 10:30-12:00 抹茶の時間  
 14:30-16:00 煎茶の時間(1/28, 2/11)/ほうじ茶の時間(2/10, 17)  
 料金 各回1,000円【事前申込優先・定員各回20名】  
 会場 仲町の家  
 出演 表現(Hyogen)【権頭真由(アコーディオン/歌)、佐藤公哉(ヴァイオリン/歌)、古川 麦(ギター/歌)、園田空也(コントラバス/歌)、神崎悠輔(茶人)】

野村誠 千住だじゃれ音楽祭  
第2回 定期演奏会「かげきな影絵オペラ」

鏡湯に通うような気分で、まちの人々が気軽にやってきて、だじゃれを言い合い、音楽が生まれる。そんな光景を夢見る「千住だじゃれ音楽祭」7年目の集大成! 豪華ゲストも集結して、だじゃれ音楽が盛りたくさんの抱腹絶倒のコンサート。みんな藝大に歓迎だい!!



日時 2月4日(日) 14:00開演(13:30開場)  
 料金 無料【事前申込優先・定員200名(先着順)】  
 会場 東京藝術大学 千住キャンパス 第7ホール(東京都足立区千住1-25-1)  
 出演 野村誠(だじゃれ音楽監督)、だじゃれ音楽研究会、梅津和時(クラリネット&サクソフォーン)、神谷未穂(ヴァイオリン)、川村直平斎(影絵)、竹澤悦子(地歌華曲)、中原雅彦(テノール)

地域連携プログラム  
表現(Hyogen)×松本一哉ライブ

表現(Hyogen)が仲町の家を飛び出し、千住で最も古い寺院のひとつ、安養院に出張!  
 音楽家・打楽器奏者の松本一哉を迎え、音が渦巻くスペシャルな一夜。



日時 2月14日(水) 19:00開演(18:30開場)  
 料金 1,500円【事前申込優先・定員40名】  
 会場 安養院(東京都足立区千住5-17-9)

千住・緑レジデンス  
トーク「友政麻理子の見た千住」(仮)

コミュニケーションを作品の主題とする美術家・友政麻理子。仲町の人々との交流や、千住のあらゆる面白い場所・こと・ものとの出会いを通じて、自身の視点から感じ、考えたことを紹介しながら、1年を振り返ります。



日時 2月24日(土) 14:00開演(13:30開場)  
 料金 無料【事前申込優先・定員20名】  
 会場 仲町の家

\*プログラム内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 \*各プログラムの詳細は「音まち千住の緑」公式サイトをご参照ください。  
 \*本事業は東京アートポイント計画として実施しています。

音楽は、国内はもとより、ブラハ、ベルリン、パリなど世界を旅して、音を紡ぐように楽曲づくりを重ねているユニット・表現(Hyogen)。寒い冬の季節におだやかな風を吹かせます。メンバーのひとり宮崎に線をもつ陶家でもあり、自作茶器でのおもてなしがあるかも。そして、茶人・神崎悠輔が、お茶の愉しみ方や茶葉のあれこれを語ります。  
 音楽やお茶が生まれる土地のごとく、千住にまつわる話など、カフェで過ごすように気ままに語りながら、この家屋に流れる時間を体験ください。



表現(Hyogen)

2005年、東京藝術大学在学中に発足。人や空間と共鳴しながら音を紡ぐ力に定評があり、さまざまなジャンルとの共演・共作・地域に密着したプロジェクトも手がける。http://sound.jp/hyogen/



神崎悠輔

フリーランスの茶人。1993年生まれ。茶道宗徳流正伝庵に師事。日本の茶畑をまわり生産から見た茶のありかたを伝える茶会や、宿泊施設でのおもてなし抹茶事業などを企画・運営。



1日だけのティーンズ楽団

千住のメモリバ、1日だけのティーンズ楽団を仲間に、まちの風景を彩る

大巻伸嗣  
Memorial Rebirth 千住  
2017 関屋



写真: 宮田了平

メモリバにフレッシュな笑顔が飛び交った。  
 ティーンズ楽団は、公募で集った足立区在住・在学のティーンズによる、メモリバのための1日だけの音楽・パフォーマンス隊だ。東京藝大千住キャンパス育ちのアーティストグループ「くるくるチャミー」(以下、くるチャミー)を講師に、音楽と身体を使ったワークショップを重ね、11月26日(日)、関屋公園で本番に臨んだ。くるチャミーは、「しゃぼんおどりの生みの親。2012年、千住で2回目のメモリバで、地元の舞踊の先生と一緒に、この盆踊りを振り付け、オリジナルの「しゃぼんおどりの歌」の作曲も担当した。アーティストと過ごした時間は、足立のティーンズにどんな記憶として刻まれたのだろうか。  
 楽団員のひとり、区内の高校生は「普段は演奏のために吹いていたけれど、ただ音を出したり、(ほかの楽器と)音を出すことで遊んだり、いつもと違うかたちでフルートを吹くのが面白かった。当日は、たくさん人が来てくれて驚いた! シャボン玉を加えた1日となった。」



写真: 宮田了平



「しゃぼんおどりの歌」の音源・楽譜ダウンロードはこちらから。  
 振付動画もご覧いただけます。  
<https://aaasenju3.wixsite.com/mrshabonodori>

平成29年度 文化庁大学を活用した文化芸術推進事業